

## 地 域 再 生 計 画

- 1 . 地域再生計画の名称  
大東町「室蓬讓水の里」清流再生計画
- 2 . 地域再生計画の作成主体の名称  
岩手県東磐井郡大東町
- 3 . 地域再生計画の区域  
岩手県東磐井郡大東町の全域
- 4 . 地域再生計画の目標

大東町は岩手県南部に位置し、人口 17,244 人（平成 17 年 3 月 31 日現在）、面積 278.71 平方キロメートルで、三方を室根山や蓬萊山などに囲まれ、それらの山々を源流とした砂鉄川が町の中央を流れています。その川沿いには耕地が開け、集落も点在する典型的な中山間地で、「室蓬讓水の里」をテーマに清流と豊かな自然に抱かれたふるさとづくりを進めています。

「室蓬讓水」は、ふるさとの偉人、芦東山が、山紫水明の自然を後世に伝えるべく命名した言葉で、「室蓬」は緑豊かな山々を「讓水」はふるさとの山野を流れる清らかな水を象徴しています。大東町民憲章に謳われ、まちづくりのテーマに引用された「室蓬讓水の里」がめざす姿は、先人が長い年月をかけて受け継いできた、生命の源である水と緑を大切にし、讃えあうことによって、次世代の子供たちも含めすべての町民が、この町に住んでいることの幸せを実感できるような理想郷づくりです。

その基本理念をもとに、本町では、快適で住みよいまちづくりはもちろんのこと、都市農村交流・観光人口の増加を図るために、豊かな自然環境を活用した体験型の森林レクリエーション施設の整備や都市農村交流事業の展開を図っています。また、砂鉄川とその支流は、アユ釣りやイワナ・ヤマメなどの渓流釣りができる水質の良い川として、多くの釣り客を集め、観光資源として大きな役割を果たしています。

しかし近年、農林業の低迷により山林や農地の手入れが行き届かず荒廃が進み、また、生活様式の多様化による生活排水の増加等で水質悪化が著しく、かつてのような、のどかな山村風景や清流の面影が薄れてきています。釣り客は平成 10 年度の遊漁券発行枚数 1,551 券(砂鉄川漁協大東支部調べ)をピークに平成 16 年度には 716 券と半減したことから大幅に減少していると推定されます。さらに、かつては子供たちの川遊びはどこでもできていましたが、現在は、川の汚れがひどい場所もあり、街沿いを流れる川などは殆ど遊べる状態ではないなど、憂慮すべき状況となっています。

このような現状を打開するため、農林業や観光振興施策はもちろんのこと、根本

的な生活排水の汚れを処理するため、平成 6 年度からは町の市街地部で公共下水道事業を、平成 10 年度からは集居集落部で農業集落排水事業を、平成 14 年度からは浄化槽市町村設置型事業を展開し、平成 16 年度末の汚水処理人口普及率は、24.2%まで達しました。しかし、中山間地形で起伏が多く小規模集落が点在するなど、整備コストが割高なため、依然として普及が立ち遅れた状況となっています。

汚水処理施設整備を一層推進し、かつてのような清流を再生することにより、アユやイワナ・ヤマメなど群れなす美しい川を復活し、釣り客を再びピーク時に迫る程度まで呼び戻します。また、豊かな自然環境とのどかな農山村を復活し、あわせて、自然体験型学習施設（アストロロマン大東・ふるさと分校）の森林と川とのふれあい体験事業と農家ステイや農作業体験などの農業農村体験事業の展開により、都会では味わうことができない体験や魅力ある農村のすがたを演出し、都市農村交流及び観光客の増加を図ります。

このことは、地場製品の販売促進はもちろんのこと、観光産業の活性化による雇用機会の確保にもつながり、地域振興を図ることができます。また、清らかな水と緑豊かな山々の再生は、先人から受け継がれた「室蓬讓水の里」の継承であり、町民の愛郷心の復活にもつながり、快適な生活環境づくりとの相乗効果により地域再生を目指します。

#### （目標 1）

汚水処理施設の整備を促進します。

（汚水処理人口普及率を 24.2%から 50.0%に向上します。）

#### （目標 2）

自然体験型観光客の増加を図ります。

（観光客入り込み客数を 91,915 人から 100,000 人に増やします。）

#### （目標 3）

釣り客の増加を図ります。

（砂鉄川漁協大東支部遊漁券発行枚数を 716 券から 1,500 券に増やします。）

## 5 . 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

大東町では汚水処理施設整備を公共下水道事業と農業集落排水事業及び浄化槽事業の 3 つの事業にて計画しています。

公共下水道事業の大原地区は全体計画 66.0ha のうち平成 13 年 9 月 10 日付けで 39.1ha の認可を得て、約 34%の管渠が整備されています。大原地区は町内の他地区に比して一番遅れているため、残る管渠工事について、交付金を活用して

事業を推進します。また、摺沢地区は平成6年度に認可を得て、平成16年2月4日付けで全体計画90haと処理場の増設もすべて変更認可され、約87%の管渠が整備されています。水洗化率も順調に向上し、今後は処理水の増加が予想されるため、処理場の増設については交付金を活用します。

浄化槽事業は平成4年度から個人設置型を導入し、平成14年度からは市町村設置型に移行し、現在は、浄化槽設置計画基数の約17%に達しています。浄化槽区域の人口は本町の約6割にあたり、普及率向上に大きなウエイトを占めています。今後、より円滑に事業推進するため、今回、町全域について交付金を活用して行う事業として計画します。

そのほかの事業として、農業農村体験事業により都市・農村交流を図り、自然体験型学習施設では自然体験インストラクター事業やマウンテンバイク各種大会を計画します。

## 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用して行う事業

[事業主体] 岩手県東磐井郡大東町

[施設の種類] 公共下水道、浄化槽

[事業区域] 公共下水道...大原地区(大東町大原字一六、町裏、清水田、大明神、烏神の全部及び、稗の沢、台下、台、立町の一部)  
摺沢地区(大東町摺沢字綱木)  
浄化槽...大東町全地区  
(公共下水道、農業集落排水区域を除く)

[事業期間] 公共下水道...大東町大原地区 平成17年度～18年度  
大東町摺沢地区 平成19年度～20年度  
浄化槽...平成17年度～21年度

[整備量] 公共下水道...大東町大原地区 管渠工 L=3,950m 75～200  
大東町摺沢地区 処理場 水処理施設 1系列増設  
浄化槽...7人槽 310基 (市町村設置型)  
H17 30基、H18 60基、H19 60基、H20 80基、H21 80基

なお、各施設による新設の処理人口は公共下水道で550人、浄化槽で1,305人

[事業費]	公共下水道...大東町大原地区	352,000 千円
		(うち単独 34,000 千円、うち国費 159,000 千円)
	大東町摺沢地区	245,000 千円
		(うち国費 133,950 千円)
	浄化槽...	363,250 千円(市町村設置型)
		(うち単独 17,050 千円、うち国費 115,400 千円)
	合計...	960,250 千円
		(うち単独 51,050 千円、うち国費 408,350 千円)

### 5 - 3 その他の事業

- ・ 農業農村体験事業(平成6年度～)  
...農家ステイにより、農作業の体験をとおり都市・農村交流を図る。
- ・ 自然体験型学習施設(アストロマン大東、ふるさと分校)事業(平成12年度～)  
...事業をとおりして体験型観光客を受け入れる。  
自然体験インストラクター事業  
(釣り、いかだ作り、野外キャンプ、ラビットストリーム他各種)  
マウンテンバイク各種大会  
(ウルトラ100kmレース、2hエンデュロレース他各種)

### 6 . 計画期間

平成17年度～21年度

### 7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を調査、評価し、公表する。

### 8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当無し